

秋田県医師確保計画の進捗状況

令和 4 年 8 月
健康福祉部医療人材対策室

1 目標医師数に対する現状

秋田県全体では達成率98.2%（-43人）、二次医療圏ごとでは、秋田周辺・横手などで達成率100%を超えている一方、大館・鹿角（-31人）、湯沢・雄勝（-9人）では達成率90%未満となっています。

医療圏名	医師偏在指標	医師偏在指標 (下位33.3%相当値)	順位	医療施設 従事医師数 H28	目標医師数 厚労省 算定値	目標医師数 計画値 R5	医療施設従事医師数		
							H30 (対目標)	R2 (対目標)	目標比
全国	239.8			304,759			327,210	339,623	
秋田県	186.3	215.9	41/47	2,257	2,371	2,371	2,296 96.8%	2,328 98.2%	-43人
秋田周辺	251.8	161.6	61/335	1,237	756	1,237	1,270 102.7%	1,287 104.0%	50人
大館・鹿角	124.0		321/335	172	196	196	174 88.8%	165 84.2%	-31人
北秋田	130.2		309/335	37	38	38	38 100.0%	40 105.3%	2人
能代・山本	145.6		273/335	154	141	154	158 102.6%	152 98.7%	-2人
由利本荘・にかほ	149.6		262/335	190	178	190	191 100.5%	205 107.9%	15人
大仙・仙北	143.1		280/335	202	204	204	205 100.5%	204 100.0%	0人
横手	159.0		233/335	186	174	186	190 102.2%	201 108.1%	15人
湯沢・雄勝	133.1		303/335	79	83	83	70 84.3%	74 89.2%	-9人

1

(参考)

医療圏・診療科別医師数

圏域	秋田県		秋田周辺		大館・鹿角		北秋田		能代・山本		由利本荘・にかほ		大仙・仙北		横手		湯沢・雄勝	
医師確保計画目標 R5年度	2,371		1,237		196		38		154		190		204		186		83	
医療施設従事医師数	H30	R2	H30	R2	H30	R2	H30	R2	H30	R2	H30	R2	H30	R2	H30	R2	H30	R2
総 数	2,296	2,328	1,270	1,287	174	165	38	40	158	152	191	205	205	204	190	201	70	74
内科	810	835	420	428	60	53	17	20	56	58	80	83	69	75	78	83	30	35
小児科	124	120	75	76	10	7	2	2	6	6	11	9	9	8	9	9	2	3
精神科	154	158	90	94	12	12	2	2	10	9	7	8	19	19	12	11	2	3
外科	219	205	108	108	14	15	8	6	21	14	19	17	18	17	24	21	7	7
整形外科	168	177	91	91	13	17	3	4	11	12	14	17	16	16	12	12	8	8
産婦人科	105	107	58	61	7	7	2	2	8	7	10	10	8	9	8	7	4	4
皮膚科	55	58	39	42	2	2	0	0	4	4	4	4	3	4	3	2	0	0
泌尿器科	83	85	44	46	5	6	2	2	9	8	5	6	8	8	6	6	4	3
眼科	85	87	51	54	4	3	1	1	7	7	6	7	5	5	9	8	2	2
脳神経外科	66	61	37	36	8	7	0	0	2	2	4	5	10	6	3	3	2	2
耳鼻咽喉科	66	69	32	34	7	8	1	1	5	5	4	4	7	7	6	6	4	4
リハビリテーション科	24	21	10	9	5	2	0	0	2	3	2	2	5	5	0	0	0	0
その他	337	345	215	208	27	26	0	0	17	17	25	33	28	25	20	33	5	3

2

2-1 秋田県の現状〔医師確保計画 第1章第4節〕

○県内の医師数の推移

本県の医師数は、令和2年末現在で2,444人であり、平成30年に比べ31人増加（人口10万人当たり8.7人増加）しましたが、全国との格差は縮まっていません。

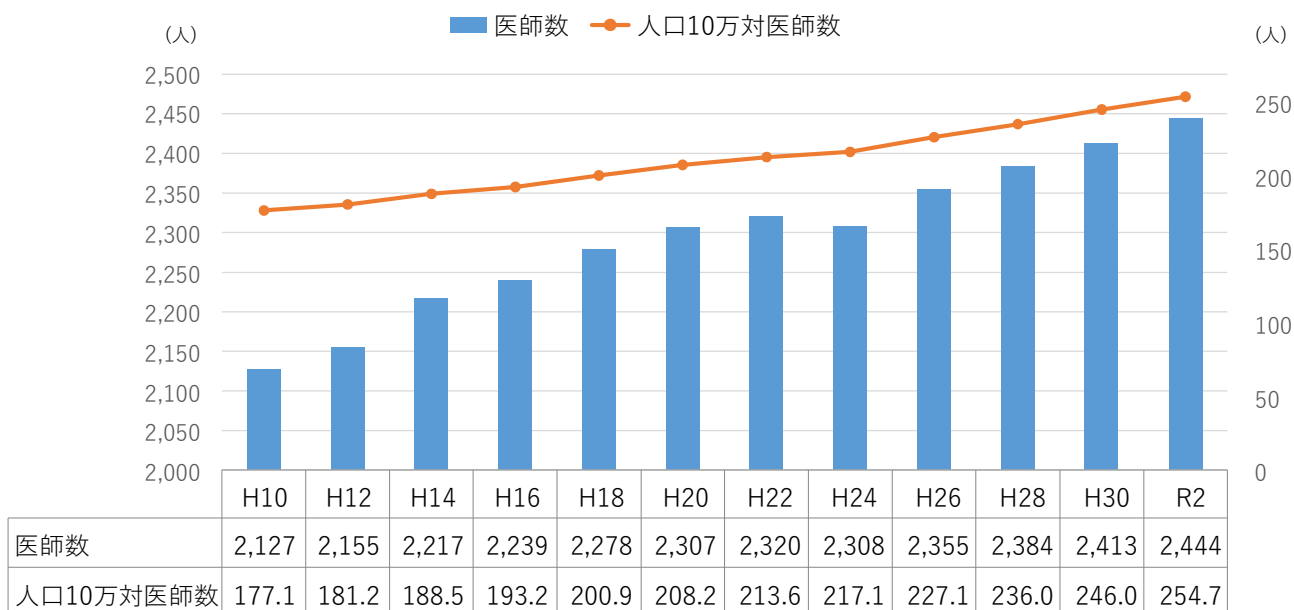
区分	秋田県		全国 (人口10万対)	対全国平均 (%)
	医師数(人)	人口10万対(人)		
平成10年末	2,127	177.1	196.6	90.1
12年末	2,155	181.2	201.5	89.9
14年末	2,217	188.5	206.1	91.5
16年末	2,239	193.2	211.7	91.3
18年末	2,278	200.9	217.5	92.4
20年末	2,307	208.2	224.5	92.7
22年末	2,320	213.6	230.4	92.7
24年末	2,308	217.1	237.8	91.3
26年末	2,355	227.1	244.9	92.7
28年末	2,384	236.0	251.7	93.8
30年末	2,413	246.0	258.8	95.1
令和2年末	2,444	254.7	269.2	94.6

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

3

医師数と人口10万対医師数の推移

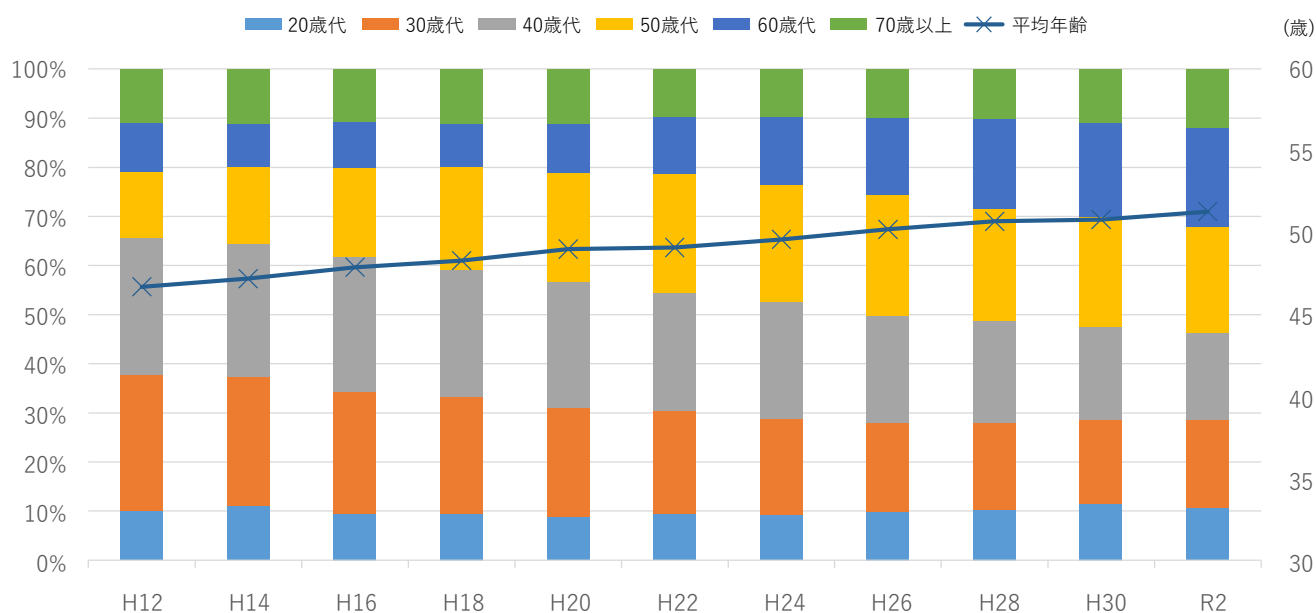
厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」



4

○医師の年齢構成・平均年齢の推移

令和2年の県内医師の年齢構成は、60歳代が20.1%、50歳代が21.7%、40歳代が17.7%、30歳代が17.9%などとなっています。平均年齢は平成10年以降上昇を続けており、令和2年は51.3歳となっています。



厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

5

医師の年齢構成・平均年齢の推移

(人)

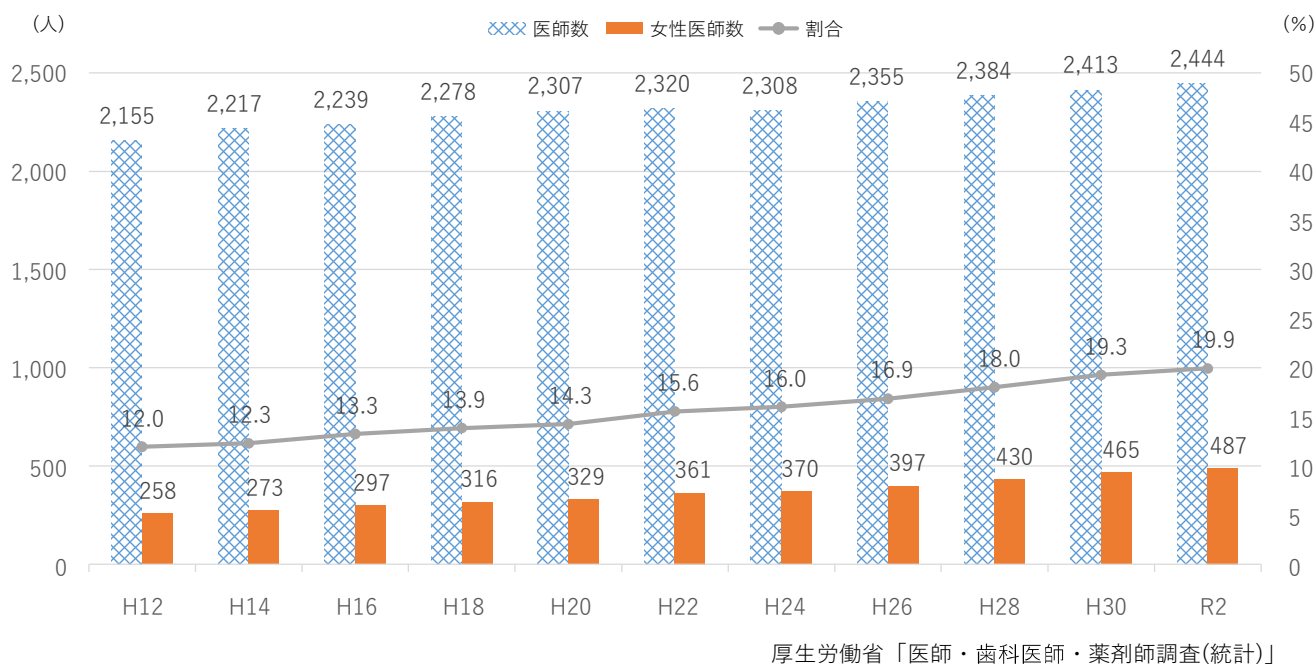
	H12	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26	H28	H30	R2
20歳代	217	246	210	216	205	221	213	231	243	276	261
30歳代	593	580	557	540	511	482	450	428	421	415	437
40歳代	604	604	615	591	591	563	553	512	498	459	432
50歳代	289	345	409	481	514	559	549	578	545	536	531
60歳代	215	195	207	199	229	271	320	372	434	466	491
70歳以上	236	247	241	251	257	224	223	234	243	261	292
平均年齢 (歳)	46.7	47.2	47.9	48.3	49.0	49.1	49.6	50.2	50.7	50.8	51.3

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

6

○女性医師数の推移

医師総数に占める女性医師の割合は年々上昇し、令和2年は19.9%（全国22.8%）となっています。



7

○診療科ごとの医療施設従事医師数の推移

平成12年と比較すると、小児科、外科、産婦人科が減少しており、そのほかの診療科では微増から増加傾向にあり、中でも精神科、皮膚科、泌尿器科は比較的增加割合が高くなっています。

	H12	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26	H28	H30	R2	H12→R2
内科	814	825	823	810	808	833	822	827	821	810	835	102.6%
小児科	129	125	130	122	128	132	127	126	123	124	120	93.0%
精神科	125	140	146	138	152	152	147	153	149	154	158	126.4%
外科	235	233	220	221	219	204	209	205	208	219	205	87.2%
整形外科	154	163	163	152	157	159	160	165	165	168	177	114.9%
産婦人科	115	111	106	97	99	102	107	107	109	105	107	93.0%
皮膚科	46	48	52	48	48	45	49	50	52	55	58	126.1%
泌尿器科	69	72	71	74	73	75	76	77	77	83	85	123.2%
眼科	83	86	87	80	89	80	87	86	89	85	87	104.8%
脳神経外科	59	61	59	59	56	61	67	68	67	66	61	103.4%
耳鼻咽喉科	66	63	58	55	62	65	63	62	63	66	69	104.5%
リハビリテーション科	20	21	24	21	26	27	26	28	23	24	21	105.0%

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

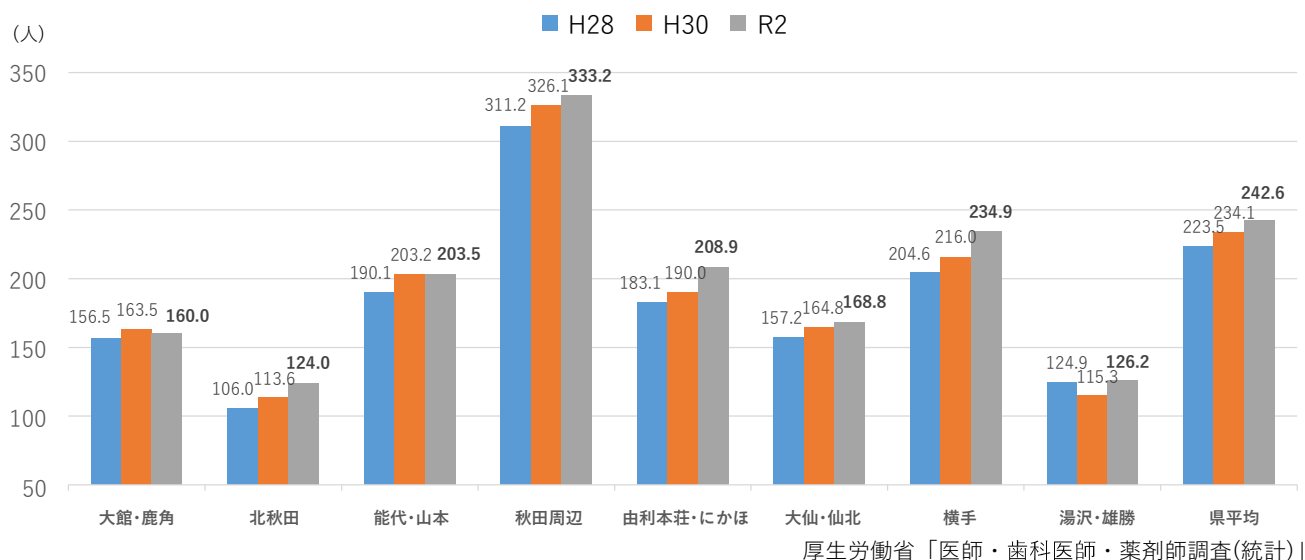
8

○二次医療圏ごとの医療施設従事医師数の状況

人口10万人当たりの医療施設従事医師数を医療圏別でみると、秋田周辺が333.2人と最も多く、最も低い北秋田では124.0人となっており、地域における医師偏在が顕著となっています。

区分	大館・鹿角	北秋田	能代・山本	秋田周辺	由利本荘・にかほ	大仙・仙北	横手	湯沢・雄勝	全圏域
医療施設従事医師数	165	40	152	1,287	205	204	201	74	2,328
人口10万対	160.0	124.0	203.5	333.2	208.9	168.8	234.9	126.2	242.6

二次医療圏ごとの人口10万対医療施設従事医師数の推移

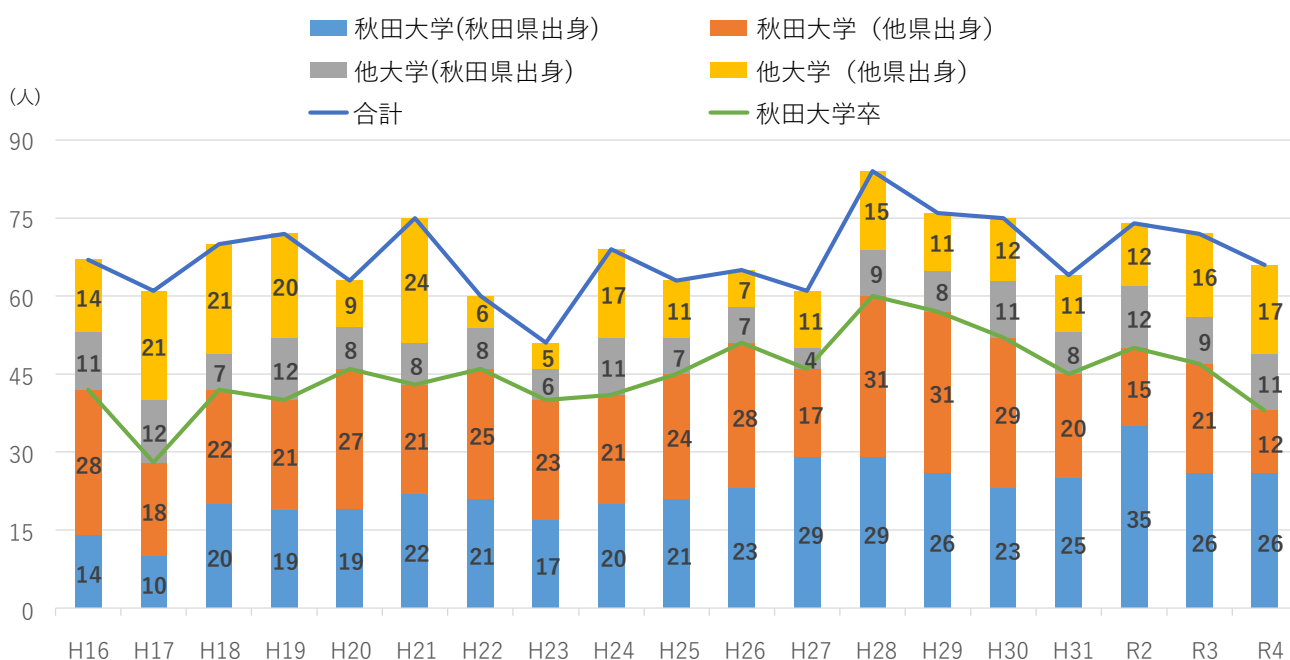


9

○県内臨床研修医採用数の推移

平成16年以降、県内の臨床研修医採用数の平均は約68人で、最も多かったのは平成28年の84人、最も少なかったのは平成23年の51人です。

近年は、臨床研修医採用数の6割以上が秋田大学医学部出身者となっています。

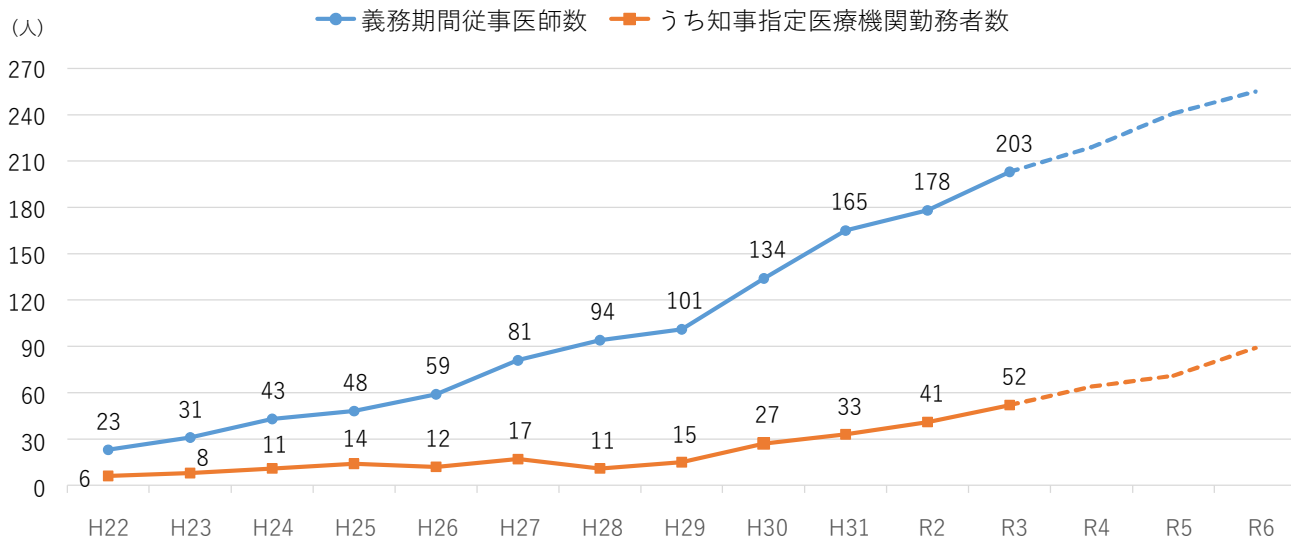


医療人材対策室調べ

○修学資金貸与医師数の推移

県の修学資金の貸与を受け、義務期間として県内の医療機関で勤務する医師は年々増加しており、令和3年時点では203人となっており、今後も増加する見込みです。知事指定医療機関で勤務する医師も増えており、令和3年時点で52人となっています。

令和3年度までの実績及び令和4年度以降の見込み



医療人材対策室調べ

2-2 秋田県の現状〔第5章 産科における医師確保計画関係〕

○出生数の推移（総数及びうち母の年齢が35歳以上）

本県の令和2年の出生数は平成18年に比べ3,227人（41.8％）減少している一方、母の年齢が35歳以上の割合は、15.1％から28.0％に増加しています。

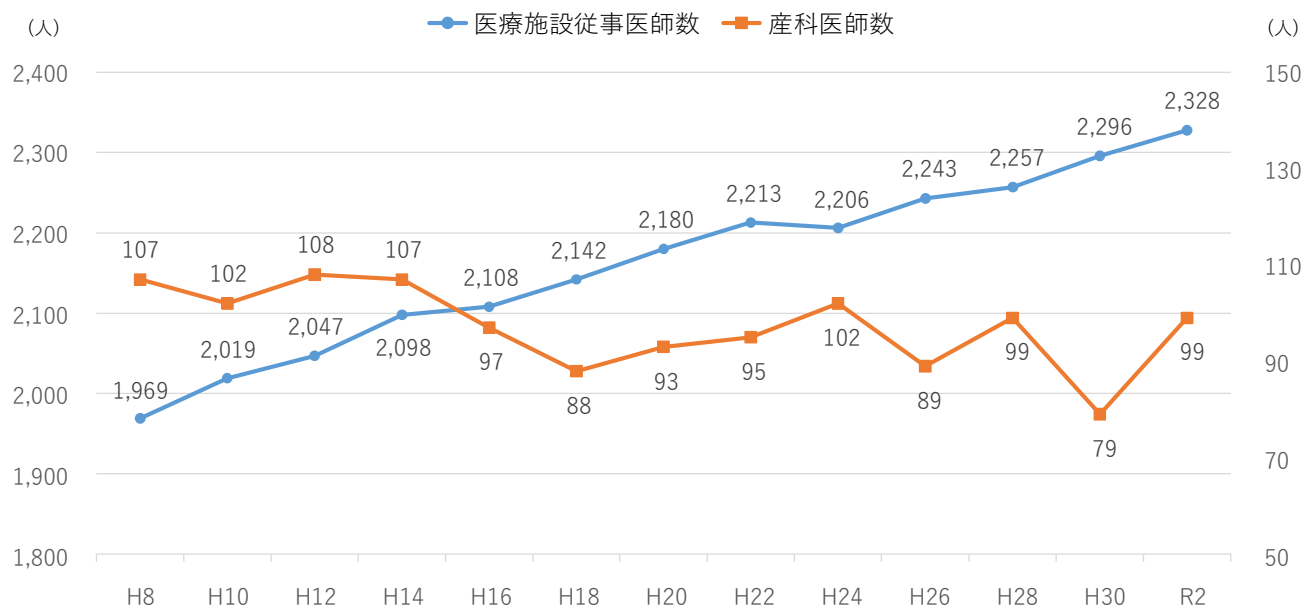
区分	秋田県			全国		
	出生数（人）		母の年齢 35歳以上の 割合（％）	出生数（人）		母の年齢 35歳以上の 割合（％）
	総数	母の年齢 35歳以上		総数	母の年齢 35歳以上	
平成18年	7,726	1,165	15.1	1,092,674	192,914	17.7
23年	6,658	1,384	20.8	1,050,807	259,552	24.7
28年	5,666	1,474	26.0	977,242	278,214	28.5
29年	5,396	1,467	27.2	946,146	270,574	28.6
30年	5,040	1,367	27.1	918,400	263,938	28.7
令和元年	4,696	1,311	27.9	865,239	251,850	29.1
2年	4,499	1,260	28.0	840,835	245,896	29.2

厚生労働省「人口動態調査」

12

○産科医師数（医療施設従事医師数）の推移

全県の医師数が増加傾向にある中、産科医師数については、平成12年から減少傾向にあり、令和2年は99人となっています。



厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

13

○分娩取扱施設の施設数、医療従事者数及び分娩件数（H28→R2）

県内の分娩取扱施設は平成28年に比べ2減少し21施設となっています。

分娩取扱施設に常勤で従事する産科(産婦人科)医は64人、小児科(新生児担当)医は44人、麻酔科医は53人、助産師は213人となっています。また、分娩件数は5,250件（うち住所地が県外の者の里帰り分娩が950件）となっています。

（単位：施設、人、件）

区分	分娩取扱施設数 *			医療従事者数(周産期関連)*				分娩件数 *	
	病院	診療所	計	産科(産婦人科)医数 *	小児科(新生児担当)医数	麻酔科医数	助産師数 *	総数	うち里帰り分娩
大館・鹿角	2→1	0	2→1	6→5	4→5	3→2	27→15	675→535	130→103
北秋田	1	0	1	1→2	1	0→1	9→7	110→33	18→0
能代・山本	1	0	1	4	2	0	20→25	500→396	135→101
秋田周辺	5	2	7	37→30	18→21	31→40	106→93	2,961→2,424	542→384
由利本荘・にかほ	2	1	3	6→7	4→5	3	17	695→484	125→72
大仙・仙北	2	2	4	7	5→3	0→5	34→22	659→515	129→66
横手	2	1→0	3	6	5	0→1	25→26	841→604	196→147
湯沢・雄勝	1	1	2	3	2	0→1	14→8	279→259	72→77
計	16→15	7→6	23→21	70→64	41→44	37→53	252→213	6,720→5,250	1,347→950

県「周産期医療に関する実態調査」

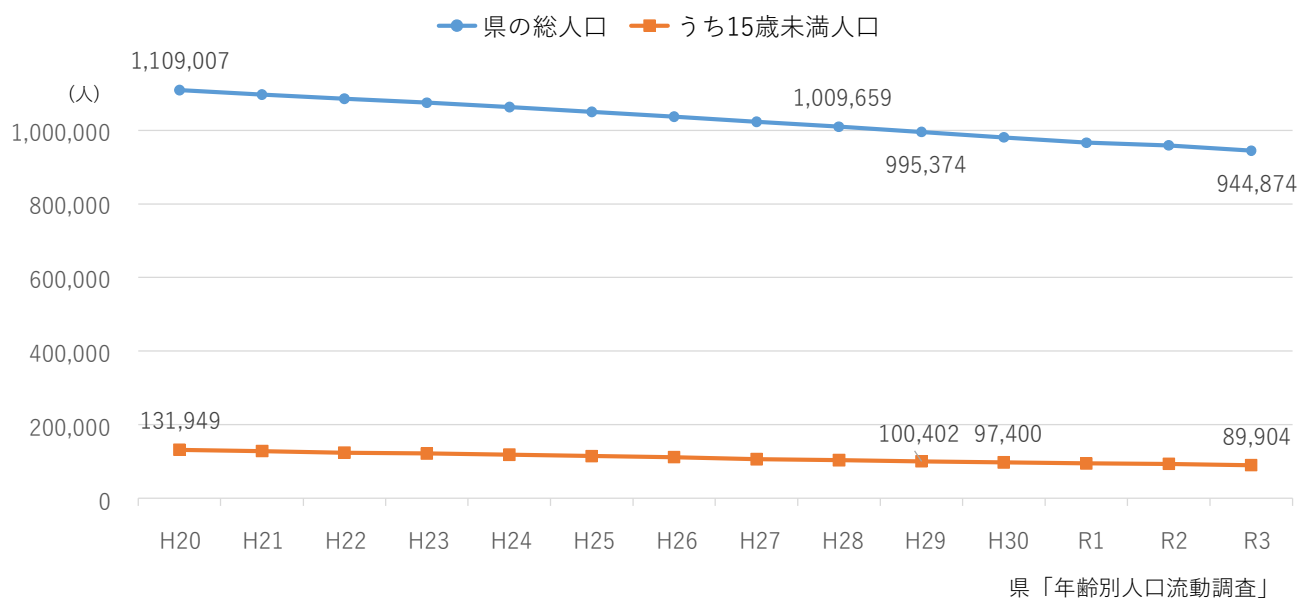
* 分娩取扱施設数・医療従事者数(他部門との兼任含む)は各年4月1日現在（H28→R2）。産科医・助産師は分娩に従事する者に限る（「三師調査」等とは一致しない）。分娩件数は各年1月1日～12月31日の実績（H28→R2）。

2-3 秋田県の現状 [第6章 小児科における医師確保計画関係]

○年少人口の推移

本県の年少人口（15歳未満）は、一貫して減少傾向にあり、出生数は平成20年から令和3年までの13年間で42,045人（31.9%）減少しています。

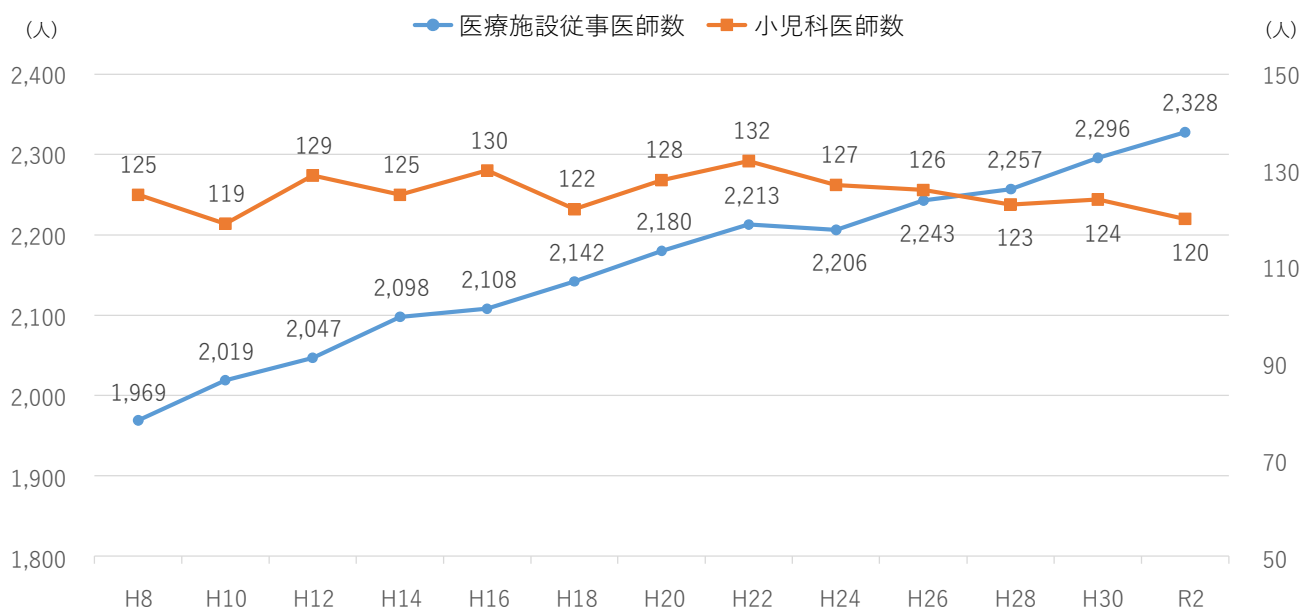
県内の総人口及び15歳未満人口の推移



15

○小児科医師数（医療施設従事医師数）の推移

全県の医師数が増加傾向にある中、小児科医師数については、平成12年以降横ばいから微減傾向にあり、令和2年は120人となっています。



厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

16

3 目標の達成に向けた施策の実施状況

主な施策の取組の状況

◆地域医療を志す医師養成のための医学生等修学資金の貸与の実施

令和3年度貸与				令和4年度貸与			
区 分	新規	継続	計	区 分	新規	継続	計
医学生（秋大地域枠）	29人	123人	152人	医学生（秋大地域枠）	29人	130人	159人
県 内	25人	103人	128人	県内	25人	110人	135人
全 国	4人	20人	24人	全国	4人	20人	24人
医学生（元気枠）	1人	3人	4人	医学生（元気枠）	0人	1人	1人
医学生（市町村枠）	0人	26人	26人	医学生（市町村枠）	0人	19人	19人
医学生（岩手医科大地域枠）	0人	2人	2人	医学生（岩手医科大地域枠）	2人	2人	4人
医学生（東北医科薬科大）	2人	4人	6人	医学生（東北医科薬科大）	4人	6人	10人
大学院生	0人	1人	1人	大学院生	0人	0人	0人
計	32人	159人	191人	計	35人	158人	193人

令和5年度についても、秋田大学地域枠等の医学生修学資金の新規貸与人数を維持の予定

◆あきた医師総合支援センターによる若手医師へのキャリアアップ支援の実施

- 大学と地域の病院等を循環しながら医師としての研鑽を積む地域循環型キャリアシステムの推進
 - ・最新の知識・技術に関する研修等の実施（延べ249人参加）
 - ・男女共同参画の推進、女性医師への支援
 - ・修学資金の貸与を受けた義務年限内の医師のキャリア形成を支援して、令和4年度の知事指定病院への配置調整を行った。（R4年度知事指定59人）

◆総合診療医センターと連携した総合的な診療能力を持つ医師の養成

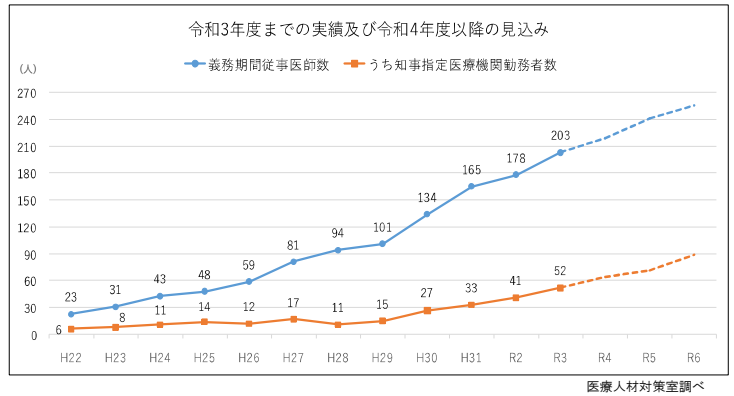
- 秋田大学医学部附属病院総合診療医センターと連携し、秋田大学医学生のみならず、東北医科薬科大学や自治医科大学等の医学生を対象とした卒前教育を実施
 - ・シンポジウムの開催（オンライン開催111人参加）
 - ・地域医療実習の開催（オンライン開催5人参加）

◆若手医師の派遣先である地域の病院における指導体制や受入体制の強化

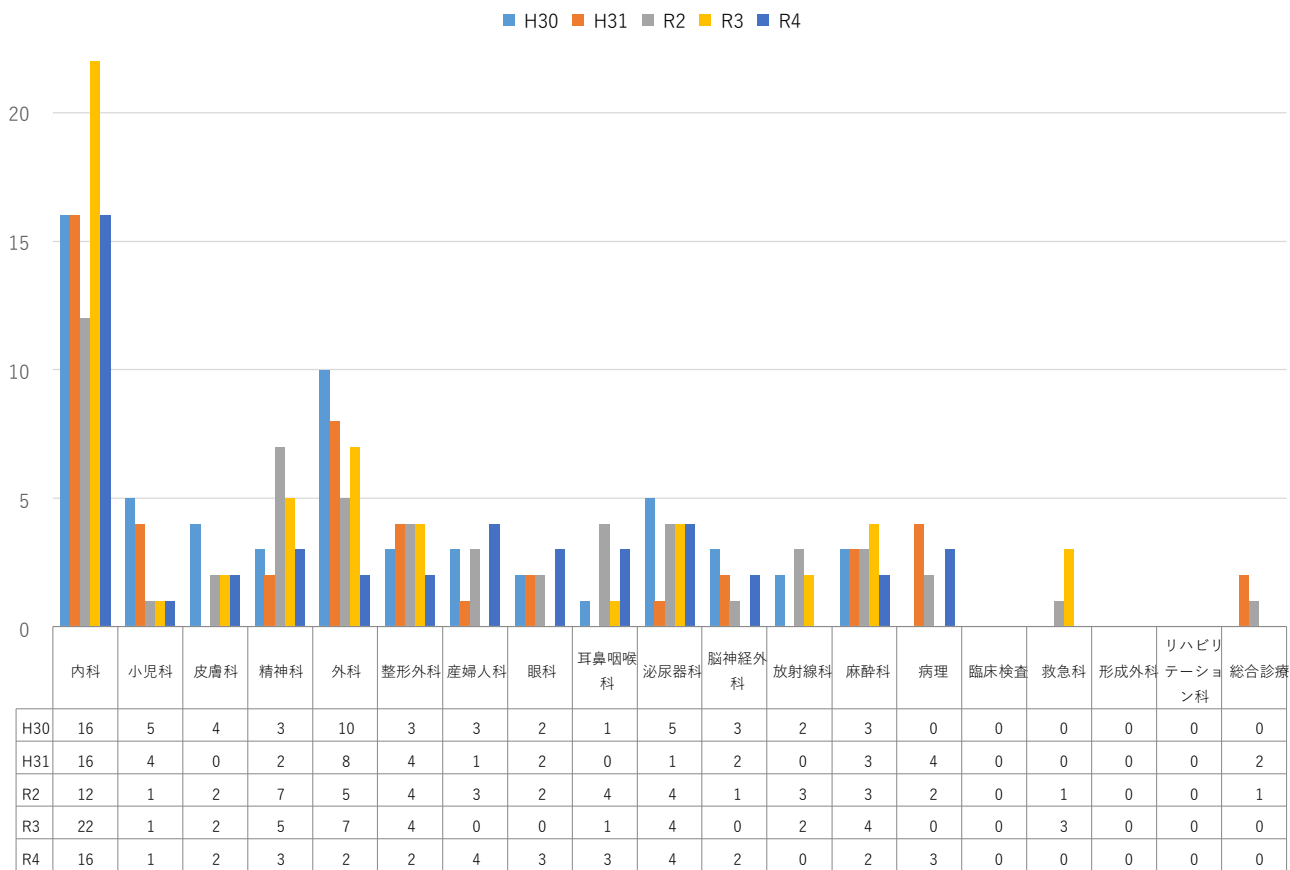
- 医師不足地域の中核的医療機関等に対し、がんや呼吸器疾患等に係る専門的診療応援を行うとともに、地域で勤務する若手医師・女性医師への指導及び勤務負担を軽減するための寄附講座を秋田大学に設置
 - ・臨床研修病院や医師不足が特に深刻な地域の公的医療機関等に診療応援の医師を派遣し、その派遣医師が診療応援や若手医師の指導を行った。
- 臨床研修病院や医師の派遣先病院の受入体制を支援するため、指導医の負担軽減のための医療秘書配置経費や医学生の病院見学経費の一部等を支援した。

◆秋田県臨床研修協議会による県内初期臨床研修医の定着促進

- 県内の臨床研修病院と連携して、県内外からの研修医の確保や臨床研修体制の充実・強化を目的に以下のような事業を行った。
 - ・病院合同説明会（オンライン）の開催や民間事業者主催のオンライン説明会への参加
 - ・研修医を指導する指導医養成のための指導医講習会の開催（オンライン）や研修医のスキルアップを目的とした講習会の開催
 - ・県外医学生の県内病院見学をサポートするアクセスサービス事業の実施等

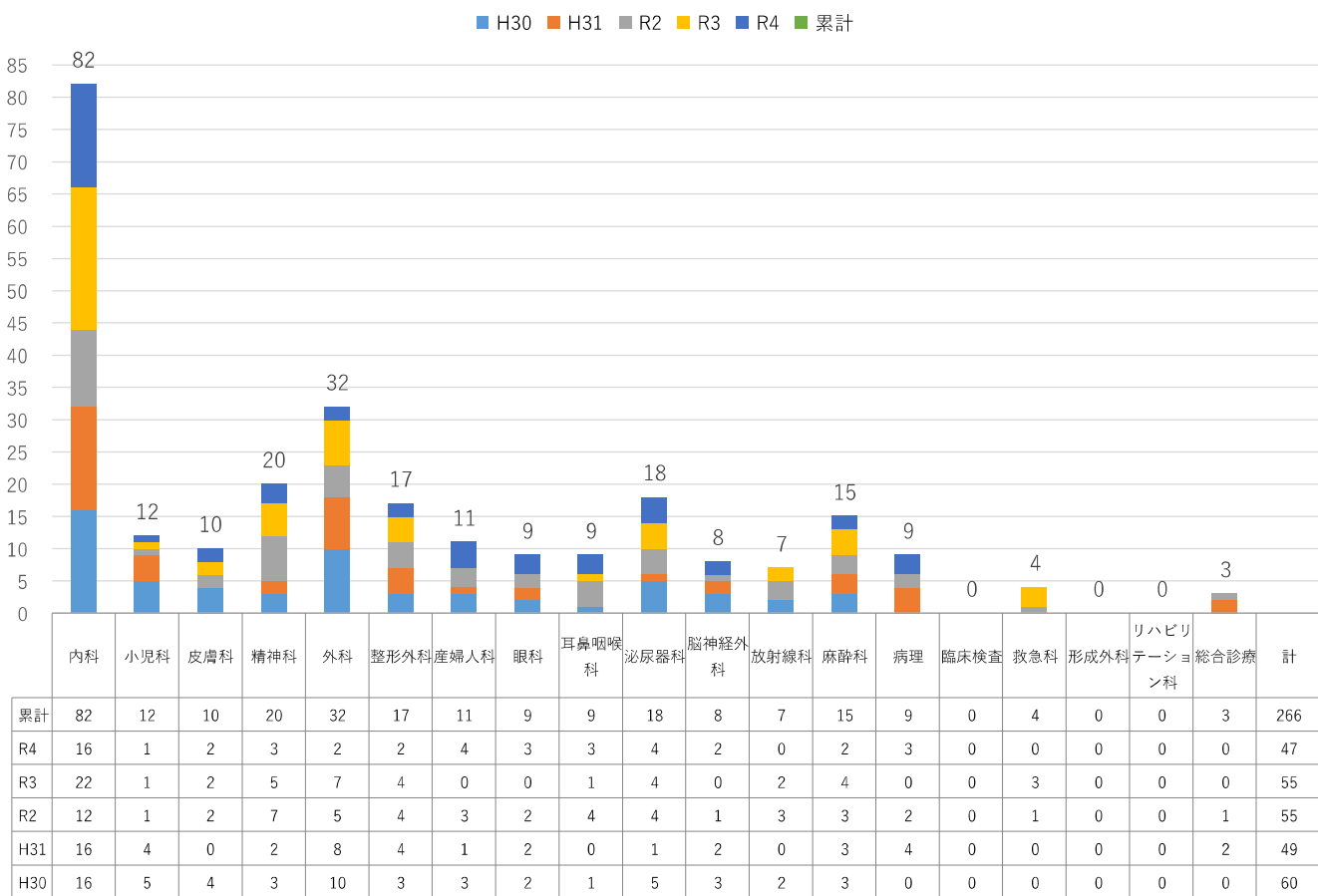


専門研修プログラム専攻医（県内基幹施設）の推移



1

専門研修プログラム専攻医（県内基幹施設）の推移（累計）

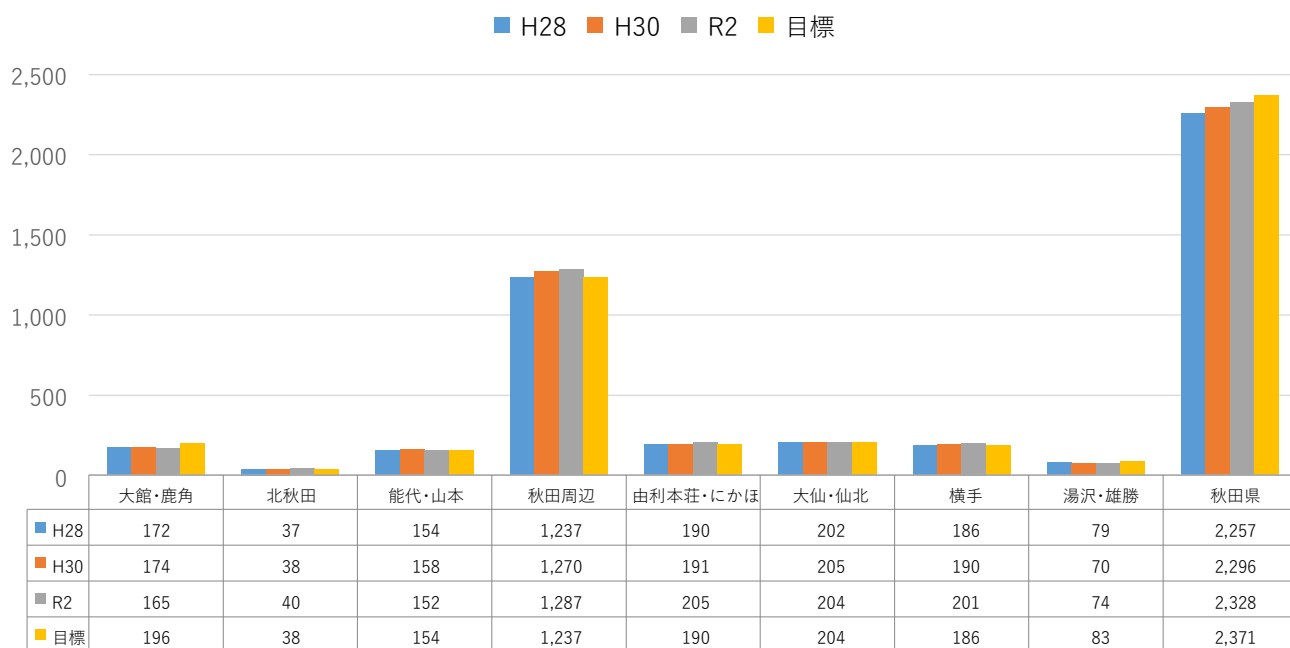


2

二次医療圏・全県の医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

総数及び「医師確保計画」の目標

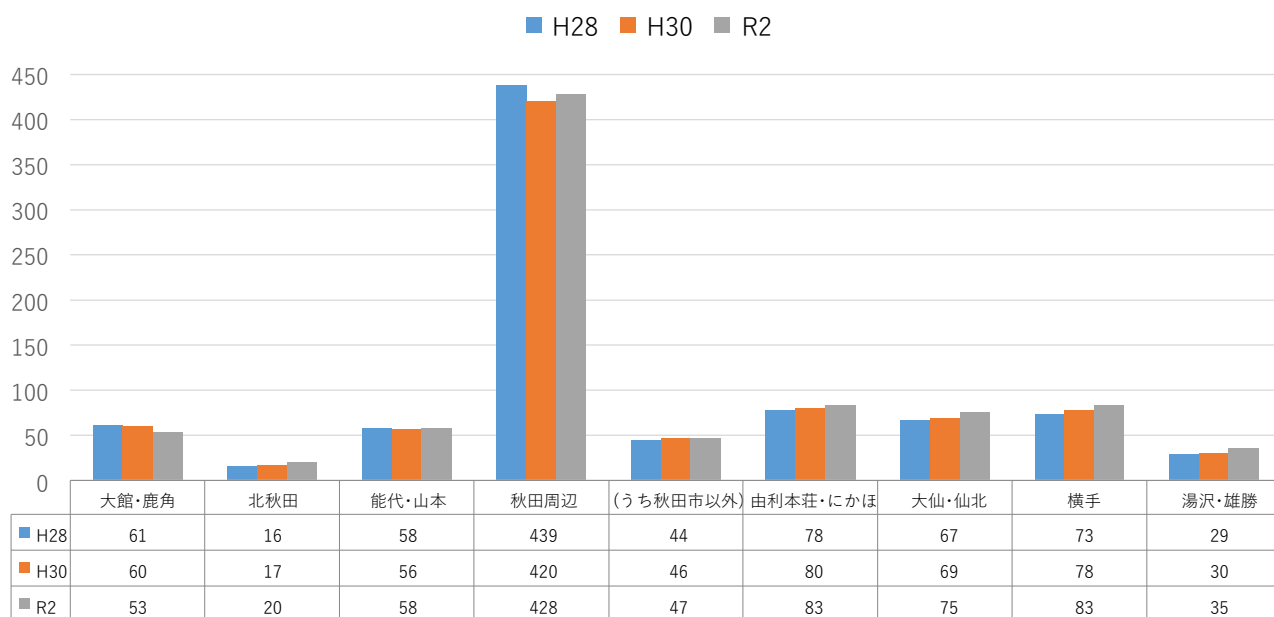


3

二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

内科

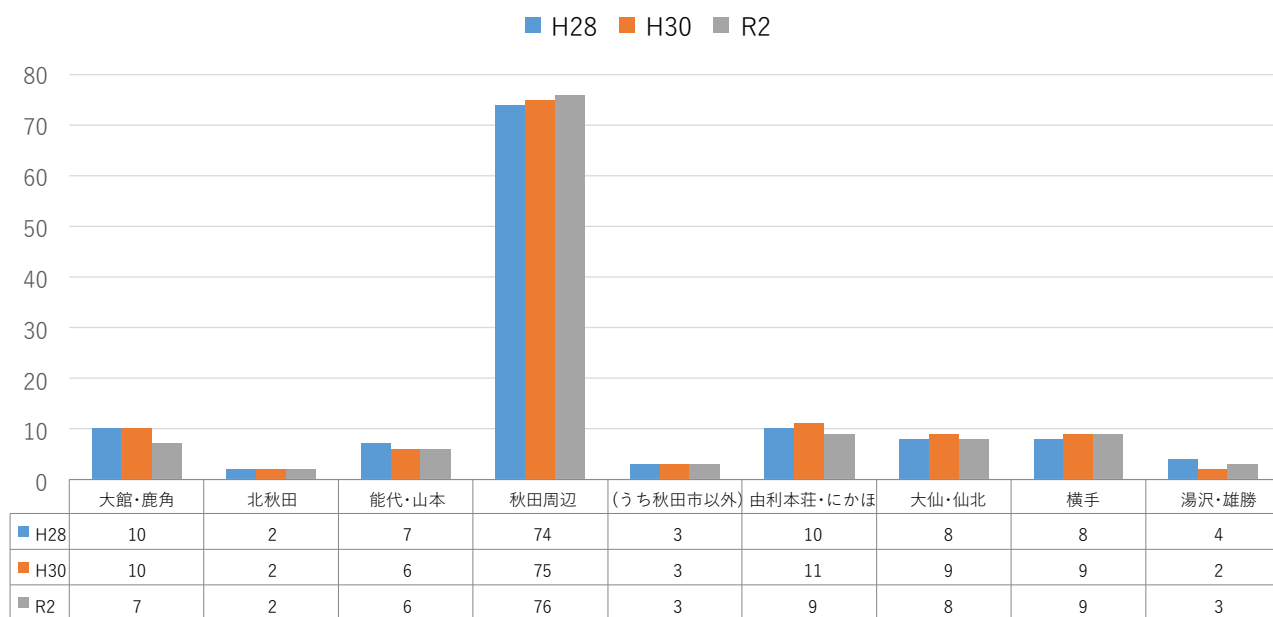


4

二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

小児科

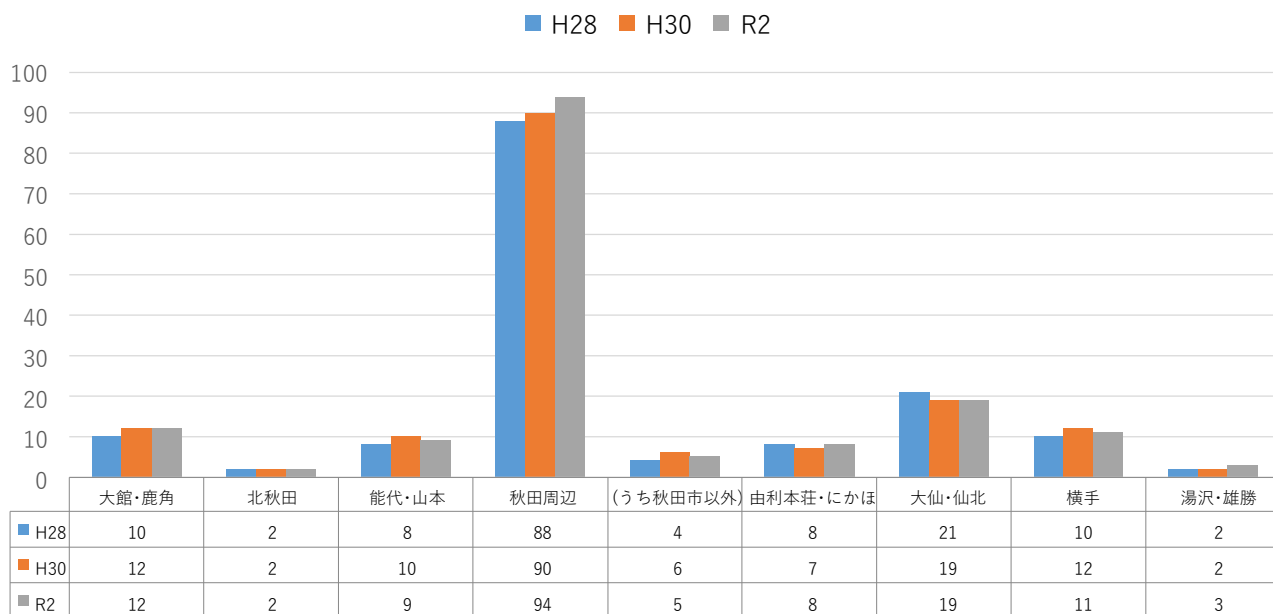


5

二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

精神科

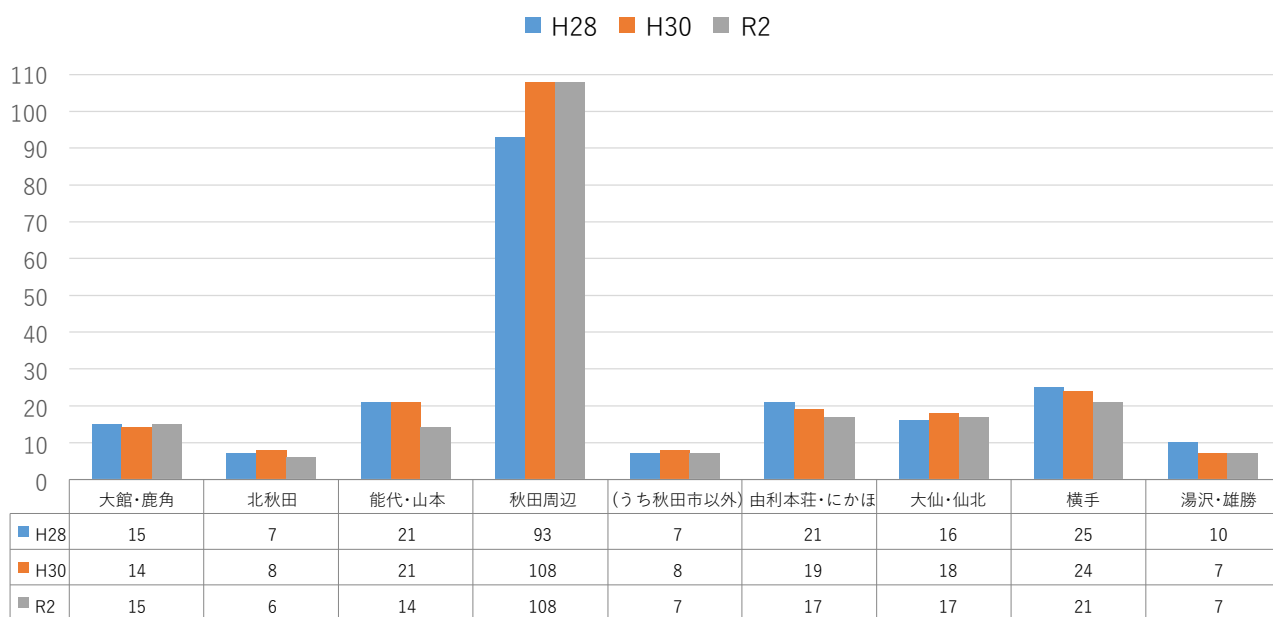


6

二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

外科

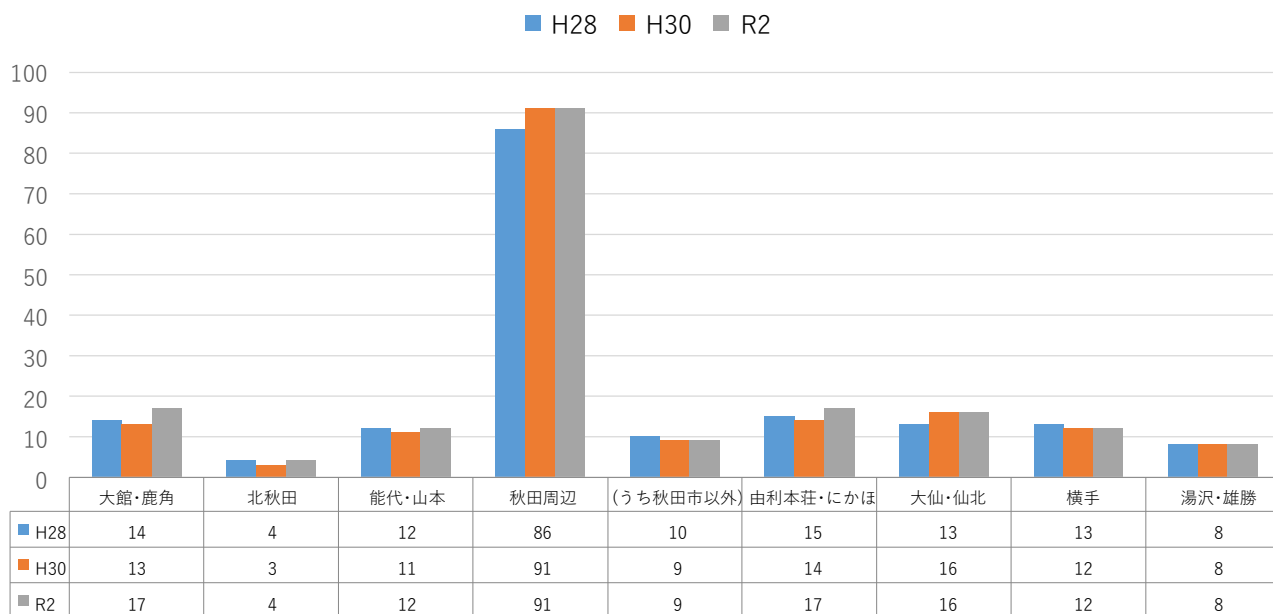


7

二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

整形外科

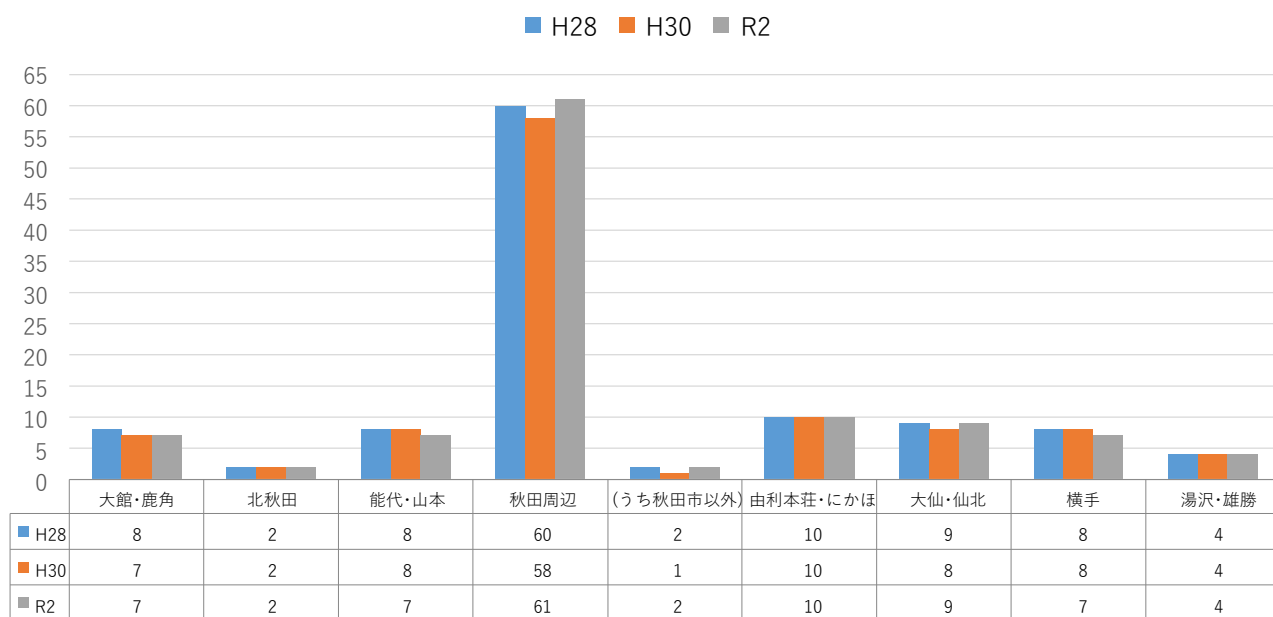


8

二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

産婦人科

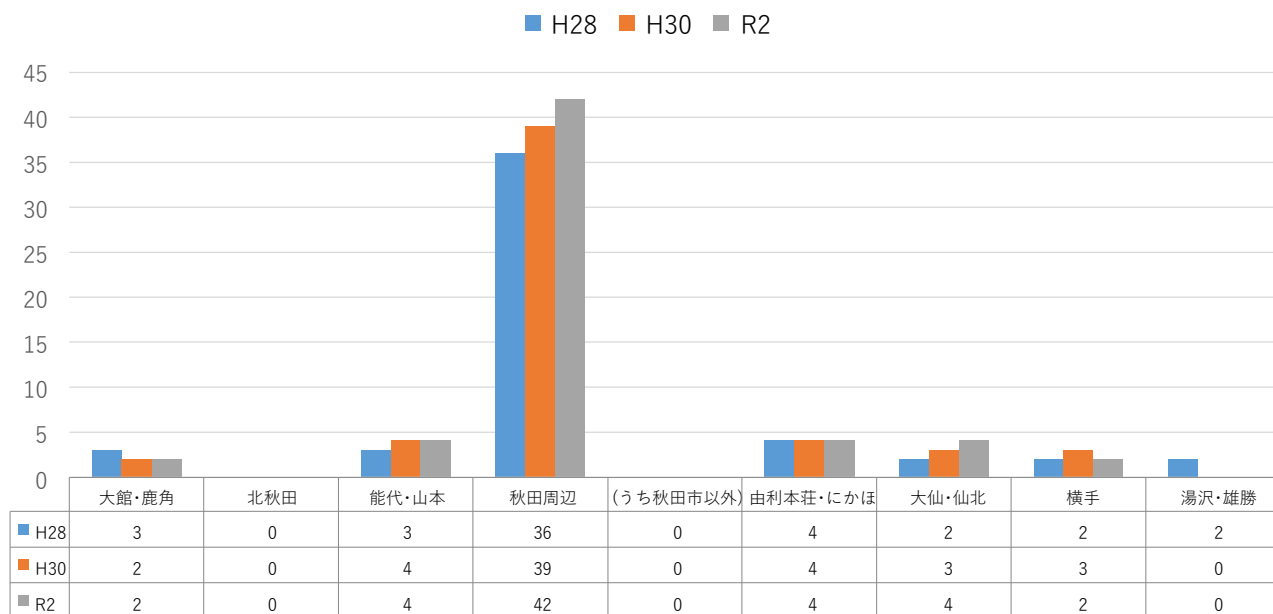


9

二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

皮膚科

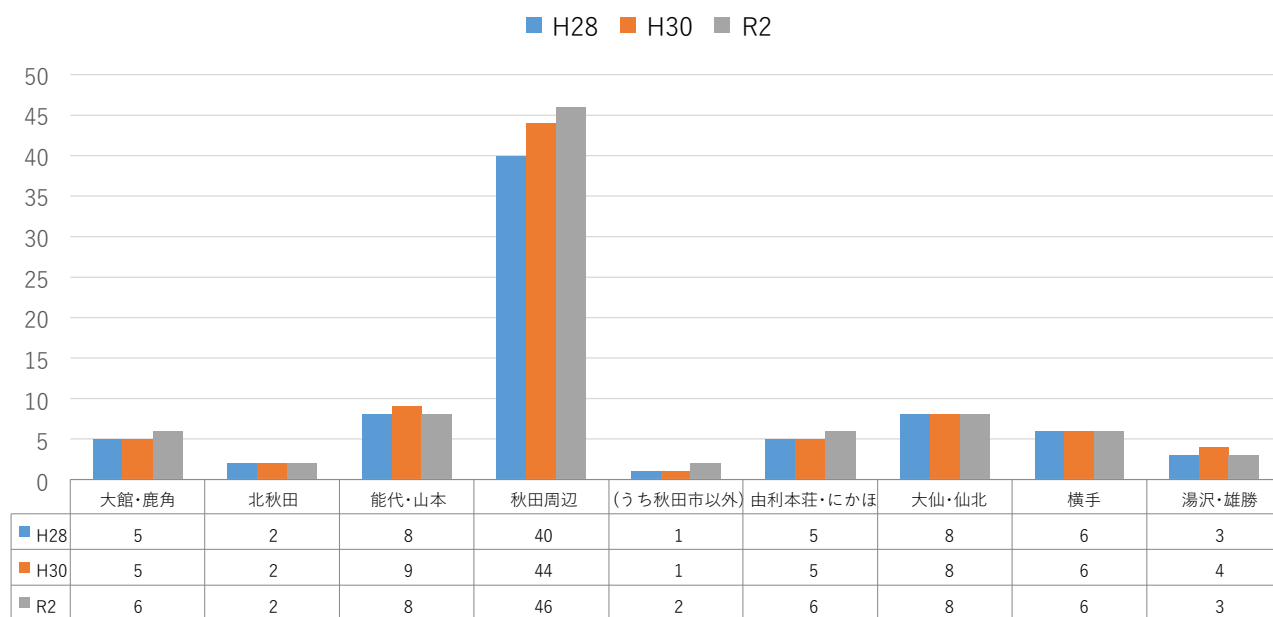


10

二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

泌尿器科

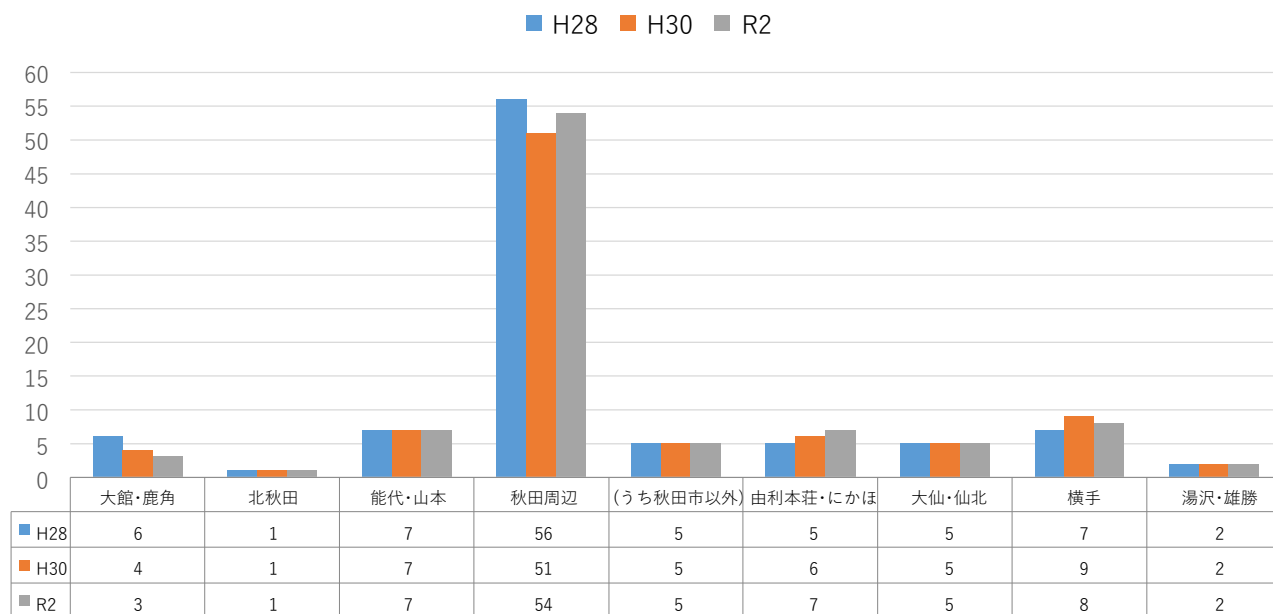


11

二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

眼科

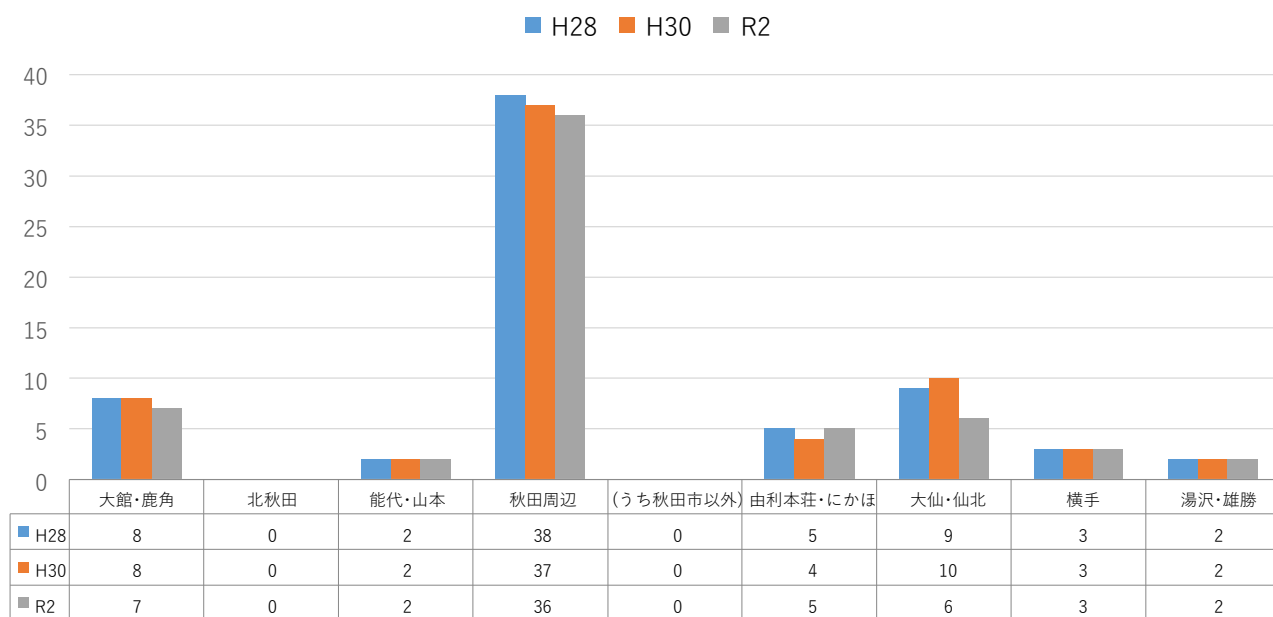


12

二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

脳神経外科

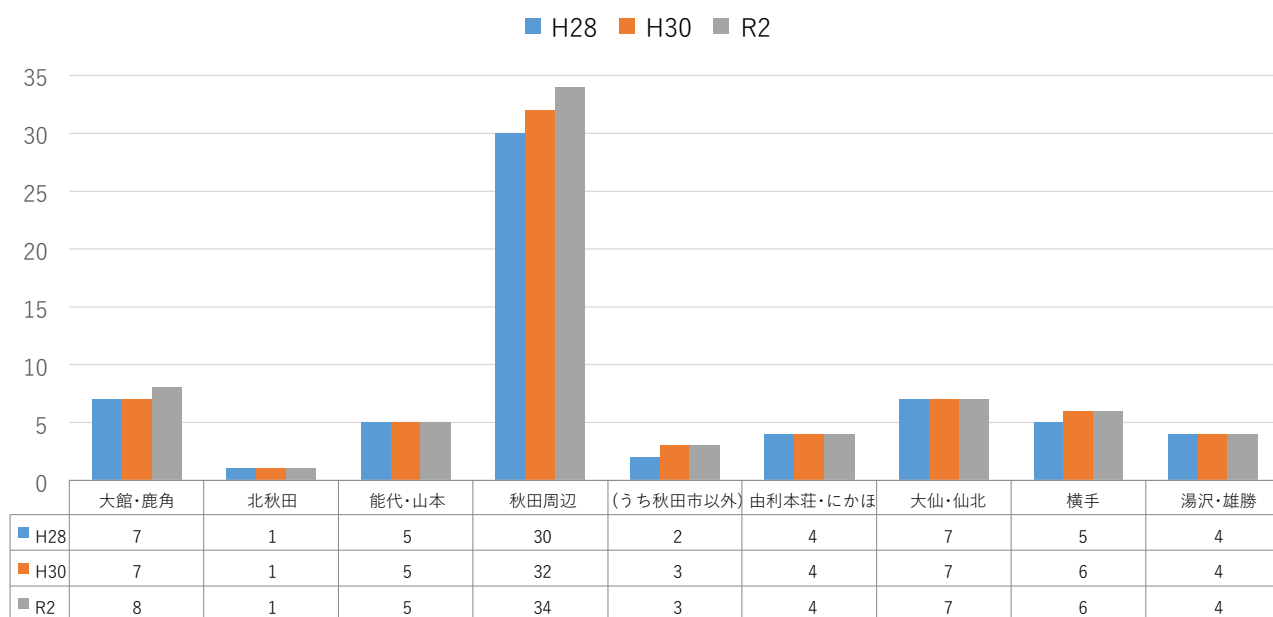


13

二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

耳鼻咽喉科

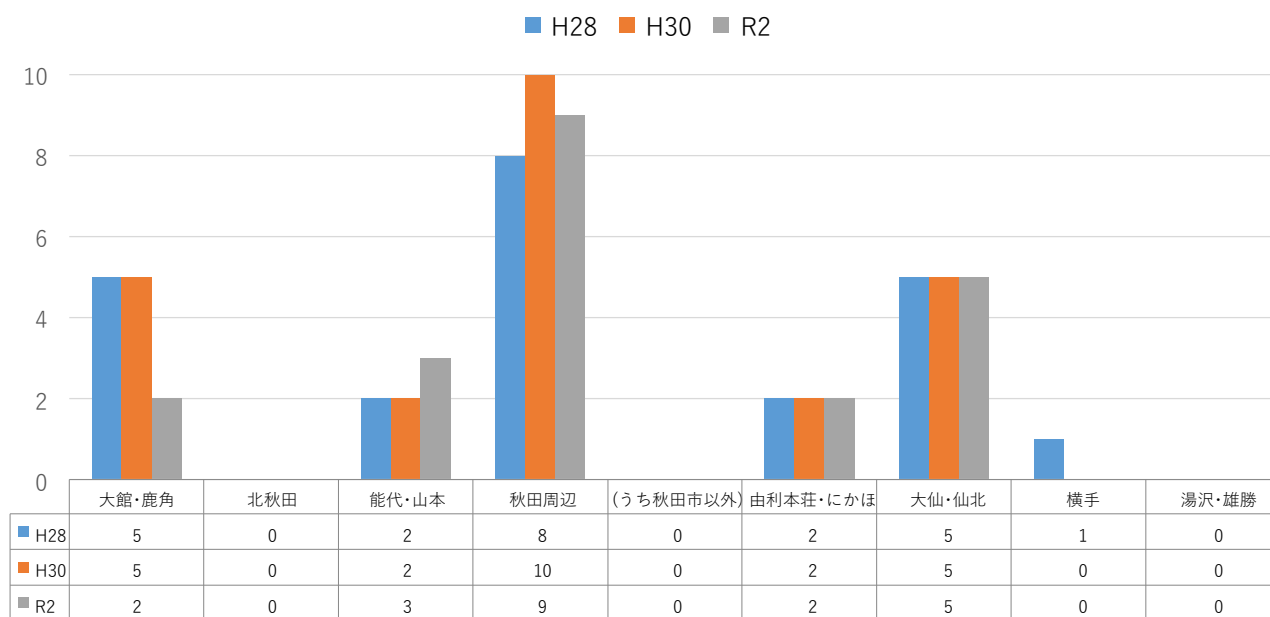


14

二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

リハビリテーション科

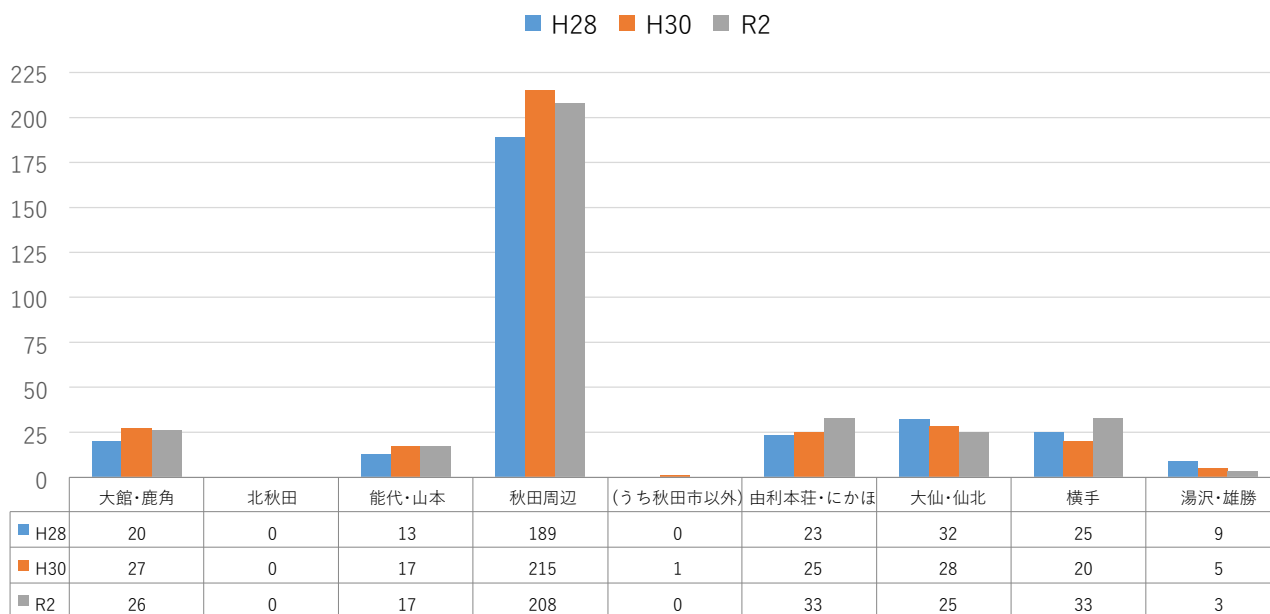


15

二次医療圏等ごとの医療施設従事医師数の推移

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(統計)」

その他（臨床研修医、麻酔科など含む）



16